保健室

裾野市立富岡第一小学校

養護教諭　飯塚　麗子

「富士のすその健康文化都市」を掲げる裾野市の北部に位置する本校は、児童数551名、20学級の小学校です。「未来の夢を創る子」を理念として、「学び合い　高め合い　支え合う富っ子」を学校教育目標に、「生き生き　のびのび　～たくましく生きるための健康づくり～」を学校保健目標としています。そして、人や物との豊かな関わりの中で、何事も進んで取り組む子の育成を目指しています。

本校には二つの柱があります。一つは地区別縦割り活動「富っ子タイム」です。これは、6年生をリーダーに異学年の仲間作り活動を行い、地域の交通安全活動から季節の遊びまで幅広い人間関係形成に結びつく交流を行っています。本校の学区は広く、登校に一時間かかる子供もいることから、通学路の安全は重要な課題です。この富っ子タイムで通学路の安全を確認し、集団下校することで、子供たちが自主的に交通安全に対する安全意識を持つようになりました。

もう一つの柱は、「朝の自主トレタイム」の設定です。朝、昇降口が開く前にはランドセルを外に置き、昇降口が開いてからは我先にと、運動場を走る姿が見られます。その参加は100%に近く、成果として、毎年、県の体力アップコンテストでは上位に入賞し、平成23年度には学校体育優良校として全国体育研究大会で表彰されました。

朝から元気に活動する富っ子たちが安全・安心に過ごせることが学校保健の重点目標ですが、運動量の多さと様々な取り組みが成果をあげて、子供たちはけがも少なく、元気に学校生活を送っています。

取り組みの一つは、運動場使用ルールや遊具・ボールの使い方の確認と共通理解、運動時の服装、朝の健康観察の徹底など当たり前のことを確実に、そして丁寧に行うことです。例えば、遊具を使ってのけがが発生した時は、すぐに全職員で遊具の使い方を確認し、朝から運動会練習があるときは、その前に健康観察を臨時で行います。

また、本校を支える地域の特色もあります。学校行事に参加してくださる学校医・学校歯科医の先生方の存在です。6月の「歯みがき教室」では学校歯科医の先生が一クラスにつき一時間指導してくださり、登校時間に学校周辺を歩いてくださる学校医の先生は、学校保健安全委員会で、子供たちと保護者に歩く効果や現在の健康課題についてわかりやすくお話をしてくださいます。

そして今年度は、さらに校内での不注意によるけがをなくすために、生活環境委員会と保健委員会が協力して「富っ子危ないけが0（ゼロ）計画」を作成・展開する予定です。これからも、子供たちが笑顔でいられるよう学校という組織で危機管理に取り組んでいきたいと思います。

磐田市立城山中学校

養護教諭　増田　真澄

城山中学校の朝は、全校に校歌が流れ、生徒も教師も、事務室も校長室も、その間は静かに誰もがたたずみます。そして、朝読書が始まります。夕方、部活終了時間になると、やはり校歌が流れ、その間は九百人を越える全ての者が静かな時を過ごします。

本校は、磐田市の中心部（見付）に位置し、学区は旧東海道見附の宿を中心に南北に広がっています。地域は、伝統的な文化が深く根付いています。国の史跡に指定されている日本最古の洋風校舎である旧見付学校が学区の中心にあり、昔から、この地域の人々が教育に熱い思いを寄せていることが伝わってきます。現在も教育への関心は高いため、学校教育への期待も大きく、協力的な地域や家庭に支えられている学校です。

本校の生徒数は864名（学級数28学級（特別支援学級含む））の大規模校です。県内でも、二番目に大きな規模の中学校です。そのため、養護教諭が複数配置されており、また教職員数が50人を越えるため、労働安全衛生委員会も設置されています。

生徒はとても素直で、多くの生徒が自己の目標に向かって努力することができています。また、学習意欲が高く、授業には意欲的に取り組んでいます。しかし、一方では、自分で考えて行動する力が弱い生徒や人とのかかわりを苦手とする生徒もおり、様々な問題や悩みにぶつかった時の解決の仕方をフォローする必要があります。

このような実態から、学校教育目標「よりよい自分を目指す生徒」の実現にむけて、重点目標を「時と場に応じて行動する生徒」「自ら調べ考えを伝え合う生徒」「心身を進んで鍛え合う生徒」としています。私たち教職員は、生徒とふれあう時間を多くし、さまざまな活動の中から、子どものよさを認めつつ、耐性を高めるように努めています。

保健室でも、保健目標を「自分で守ろう自分の健康」とし、生徒が心身の健康を自分で守れるように、学校保健活動に取り組んでいます。こうした取組の一つとして、磐周地区全体で取り組んでいる「健康の日」があります。

本校では、この日に、放送やテレビ放送を使い、健康課題解決のためのアドバイスをしています。保健室には、毎日たくさんの生徒が来室します。来室時には、チェックカードを使い、自分の健康状態を振り返らせるようにしています。この時の関わりを私は最も大切にしています。

なぜなら、生徒理解の第一歩となり、生徒とつながっていくきっかけになっていくからです。この時、生徒一人一人が普段見せない心の裏側を見せることが多いのです。このことをきっかけに、担任との連携も深めることができます。今後も複数配置のよさを生かし、温かみのある、そして健康情報センター的役割を果たせる保健室をめざしていきたいと思います。

げんきな事業所

一般社団法人静岡市静岡歯科医師会

（静岡市駿河区曲金三―三―一五）

静岡市静岡歯科医師会は旧静岡市（葵区、駿河区）の主に開業医で構成されており、現在会員数は270名余りです。

本会は医道の高揚、歯科医学医術の進歩発達と公衆衛生の普及向上とを図り、予防医学の完成に努力し、社会並びに会員の福祉を増進する事を目的とした事業を行っています。

主な事業は1歳6ヵ月、3歳児健診や学校歯科検診。歯磨き巡回指導や歯科保健巡回指導。救急歯科センター（休日歯科診療）などであり、口腔保健センター事業として乳幼児むし歯予防教室、事業所健診、歯科健康教室や訪問歯科診療事業などがあります。この中で救急歯科センター、乳幼児むし歯予防教室、訪問歯科診療事業の概要を説明致します。

救急歯科センターは静岡市静岡歯科医師会会館に併設されており、日曜・祝祭日・年末年始など、一般診療所が休診の日に応急処置にかぎり診療を行っております。本会会員歯科医師2名（年末年始は3名）が当番制で診療にあたります。受付時間は午前9時から午後3時30分です。

乳幼児むし歯予防教室は昭和46年から始まった（名称は何回か変更有り）事業で、現在0歳から6歳児（小学校入学前）の児童を対象としており、歯科健診と歯みがき指導、栄養指導を行っています。特にむし歯の発生には生活環境の影響が大きいため、健診時に栄養指導を行うことは大きな意味があると同時に特徴的です。毎週木曜日、土曜日の午後1時30分から行っております。

訪問歯科診療事業は葵区と駿河区に在住の原則65歳以上のほぼ寝たきり状態にあり、通院困難な方を対象に行っております。歯ッピー静岡号という歯科器材を備えた往診車で患者さんのご自宅にお伺いして原則保険診療の治療を行っております。

この他に啓発事業として、「歯と口の健康週間」（今年は6月4日から6月10日まで）に合わせて毎年6月第一日曜日に「お口健康　歯っぴーふぇあ」というイベントを行いました。平成6年からスタートして今年で20回目になりました。歯っぴーふぇあでは市民が歯の健康に関して興味を持つことを主な目的としており、今年のイベントステージでは歯科衛生士によるむし歯予防寸劇やキッズダンス、BMXパフォーマンスが行われ、イベントブースではカムカムチェックカムコーナー、歯周病簡易検査、歯科相談、親子で歯科医師体験など歯科に関係する体験コーナーが多数設けられました。毎年大盛況の静岡市静岡歯科医師会のビッグイベントになっております。

このように、静岡市静岡歯科医師会では、市民がいつまでも美味しく食べ、楽しく生活を営めるような快適な生活を支えるための事業を行っており、今後も正確な情報を発信し、治療のみならず、疾病の予防に力を注いでいきたいと思います。なお、ご紹介させていただいた事業等はホームページにも載せています。こちらも是非ご覧下さい。

http://www.s418.or.jp/sda.html

往　診

歯ッピー静岡号

乳幼児予防教室

静岡市静岡歯科医師会